



令和8年度 学校だより

# とりやっ子

No.3 両面印刷

中能登町立鳥屋小学校

令和8年6月3日

文責 校長 干場 和代



【学校教育目標】ふるさとを愛し、仲間と共に、未来を切り拓く児童の育成  
～関わり合いを通して 自ら学びとる とりやっ子～

## ◆◆ 命を守る学習の実施～自分の命は自分で守る～ ◆◆

**交通安全教室** 5月18日（月）に七尾警察署の方、鳥屋駐在所の方をお招きして交通安全教室を行いました。

1. 2年生はふるさと創修館前交差点の横断歩道を実際に渡って、正しい渡り方（①信号を見る②信号が青になったら左右を見て、車が来ていないか確認する③手を挙げて歩いて渡る）を学習しました。「にっこにこ組」さんのご協力を経て、一人4回横断歩道を渡る練習ができました。友達が先に渡ってしまい、それを追いかける形で走って渡ろうとする児童がたくさんいますが、一人一人が上記のことを確認し、危険がないとわかった上で渡ることが大切です。



3～6年生は体育館で、自転車の乗り方や道路の渡り方について学習しました。自転車で道路を渡るときは斜めではなく道路と垂直に、できるだけ短い距離を渡ると危険が少ないことなどを教えていただきました。時速50kmで走っている車が歩行者に気付いてブレーキをかけて止まるのには25メートルの距離が必要だということなども初めて知った児童が多かったようです。



**火災の避難訓練** 5月21日（木）に地震から火事になった設定での避難訓練を行いました。雨天のため、避難場所は体育館となりました。（実際に火災が起こったら雨天でも運動場です）1年生以外は抜き打ちでの避難訓練でしたが、放送や先生の指示を聞いて真剣に訓練することができました。能登半島地震を経験した怖さを知っている自分たちだからこそ、命を守る訓練はしっかりやる必要があるということ、実際の災害では今通ってきた廊下は通れなくなっているかもしれない、だからこそ先生の指示をしっかりと聞くことが大事だという話もしました。これからも継続的に避難訓練は行っていきます。



**引き渡し訓練** 5月28日（木）に「大雨から土砂災害が起こる恐れがある」という設定で、おうちの方のご協力のもと、児童引き渡し訓練を行いました。今年度は79.7%の参加率であり、昨年度より多くのご家庭が訓練に参加してくださいました。ありがとうございます。おうちの方を待っている児童の様子は練習ということもあり落ち着いていましたが、実際災害が起きると、現場の混乱を目にして不安に思う子もたくさんいると思われます。教職員も慌てていることが想定されます。災害はいつ、どこでも起きるということを念頭に置いて、今後も命を守る訓練をやっつけていかなければなりません。次年度もぜひ保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



## ◆ ◆ 学習サポートで充実した活動になりました ◆ ◆

### <5年生 田植え体験 5/19>

農事組合法人やまびこさんと JA さんにお世話いただき、田植え体験を行いました。初めに田植え枠を転がす体験をし、その後苗束をもって田んぼに入りました。泥に足が取られそうになりながら頑張って稲の苗を植える5年生の姿が見られました。稲づくりの大変さを体感できたよい機会でした。



### <3年生 創修館へ見学に 5/15>

総合的な学習で自分たちの住む地域を知る学習をしています。その一環としてふるさと創修館に見学にいきました。学芸員の高名さんから、曳山のことについて教えていただいたり最古のおにぎりの化石を見せられていただいたりと初めての学習に興味津々な様子でした。自分たちの町について知ることができました。



### <6年生 地震について学ぶ 5/29>

総合的な学習（防災）の一環として七尾鹿島消防本部の方をお招きして起震車（揺れを起こす車）で地震の揺れ体験をしました。改めて地震の怖さを体感し、防災の意識が高まったように思います。その後子供達からの質問にも答えていただき、知らなかったことを知る貴重な時間となりました。



### <1年生 くもくん教室 5/29>

七尾警察署の小西さんをお招きして「くもくん教室」を行いました。「くもくん教室」というのは「くもくん」が子供たちにプライベートゾーンの大切さを教える学習です。プライベートゾーンは水着を着ると隠れる部分であり、人に見せたり触らせたりしてはいけないことを、わかりやすく教えていただきました。



## ◆ ◆ 5/30 奉仕作業ありがとうございました！ ◆ ◆

5月30日（土）早朝から保護者の皆様及び5、6年生児童に参加していただき、奉仕作業を行いました。作業開始から1時間たつと、松ぼっくり広場や登校坂、裏庭の生い茂っていた草が刈られ、グラウンドの緑も薄くなり、側溝の泥も掻き出されてすっきりとしました。大勢のお力に感謝です。参加して下さった皆様、ありがとうございました！



## ◆ ◆ 6/2 本の寄贈 ありがとうございました！ ◆ ◆

「子供たちに本の世界でいろいろな体験をしてほしい」とのことで、町教委からの紹介で創価学会さんから300冊の本の寄贈があり、贈呈式を行いました。地震からの復興という目的もあるとのことで、子供たちへの励ましが感じられる式でした。贈呈式には図書委員会の子供たちが参加し、代表で6年生の亀井さんが「多読賞目指してたくさん本を借ります。」と言葉を述べました。亀井さんが話したように、これをきっかけに、多くの児童が本を手にとって読む機会が増えることを願っています。

